

1 学年及び単元名 第4学年 「わり算の筆算(2)」

2 問題

下のような式を計算する時に、けんじさんとゆみさんは、それぞれ次のように説明をしました。

式 $2400 \div 400$



けんじさん

0は消して考えればいいと思います。だから $24 \div 4 = 6$ で $2400 \div 400 = 6$ となります。



ゆみさん

わり算のきまりを使うと $2400 \div 400$ の商は $24 \div 4$ の商と同じになるから、 $2400 \div 400 = 6$ となります。

次の問題に答えましょう。

- (1) けんじさんは0を消していいと言っていますが、どうして $2400 \div 400$ と0を消した $24 \div 4$ の答えが一緒になると言っているのでしょうか。その理由を図や言葉を使ってかきましょう。
- (2) ゆみさんはわり算のきまりを使って考えると言っていますが、ゆみさんの言っているわり算のきまりとはどういうことでしょうか。式や言葉、矢印などを使って説明しましょう。また、下の()の中に言葉を入れて、文章を完成させましょう。

() と () を () でわっても商は変わらないので、 $2400 \div 400 = 6$ となる。

3 ねらい及び活用のポイント

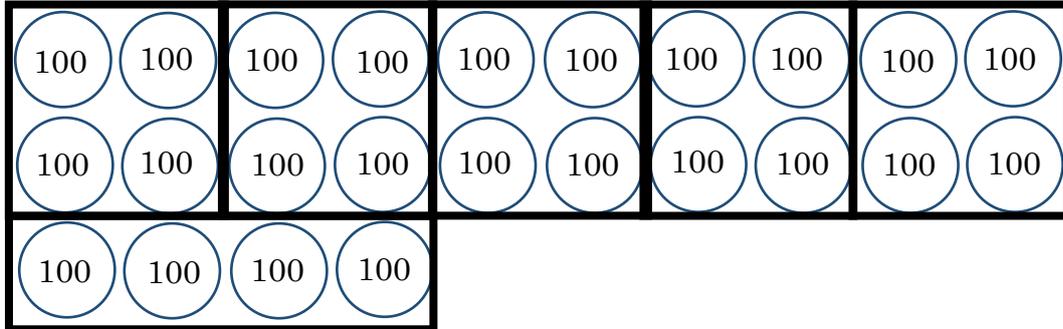
- ・わり算の計算の計算はできるが、意味を理解していない場合が多い。そのため、その理由をきちんと説明できるようにすることをねらいとしている。
- ・わり算(2)の学習が終わった後、まとめとして用いたり、桁数を減らして単元の導入を理解できているか宿題として確認したりすることができる。
- ・実態に応じて穴埋め方式にして提示する方法も考えられる。
- ・図は必要に応じて消してお使いください。

4 考え方

・けんじさん

$$2400 \div 400$$

100のまとまりがいくつあるか考える。2400は100が24個、400は100が4個だから、 $2400 \div 400$ は $24 \div 4$ の商と同じになる。



・ゆみさん

$$2400 \div 400 = 6$$

$$\downarrow \div 100 \quad \downarrow \div 100$$

$$24 \div 4 = 6$$

(わられる数) と (わる数) を (同じ数) でわっても商は変わらないので、

$2400 \div 400 = 6$ となる。

問 題

わり算の筆算（２）

下のような式を計算する時に、けんじさんとゆみさんは、それぞれ次のように説明をしました。

式 $2400 \div 400$



けんじさん

0は消して考えればいいと思います。だから $24 \div 4 = 6$ で $2400 \div 400 = 6$ となります。

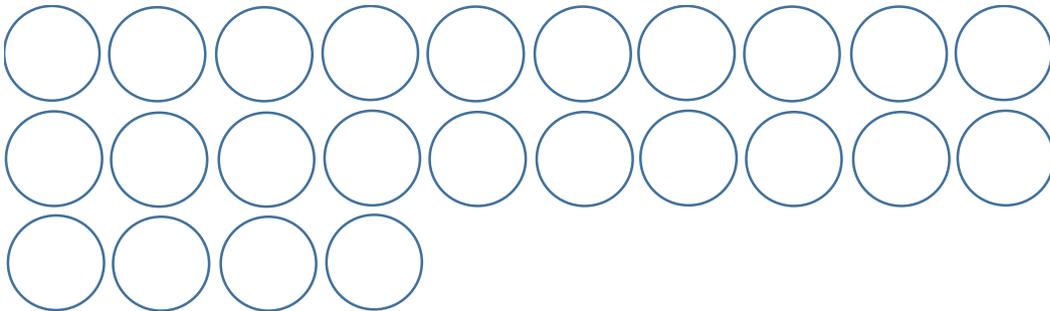


ゆみさん

わり算のきまりを使うと $2400 \div 400$ の商は $24 \div 4$ の商と同じになるから、 $2400 \div 400 = 6$ となります。

次の問題に答えましょう。

- (1) けんじさんは0を消していいと言っていますが、どうして $2400 \div 400$ と0を消した $24 \div 4$ の答えが一緒になると言っているのでしょうか。その理由を図や言葉を使ってかきましょう。



- (2) ゆみさんはわり算のきまりを使って考えると言っていますが、ゆみさんの言っているわり算のきまりとはどういうことでしょうか。式や言葉、矢印などを使って説明しましょう。また、下の（ ）の中に言葉を入れて、文章を完成させましょう。

（ ）と（ ）を（ ）でわっても商は変わらないので、 $2400 \div 400 = 6$ となる。